

## サステナブル・イベント・セミナー（3/18 仙台・3/23 東京） JCS+MCI Sustainable Event Seminar in Sendai & Tokyo

日本コンベンションサービス株式会社（JCS）・MCI 共催

後援： 第3回国連防災世界会議 仙台開催実行委員会  
Supported by Sendai Committee for the UNWCDRR  
(UN World Conference on Disaster Risk Reduction, March 14-18 2015)



東日本大震災からまもなく4年が経とうとしています。わたしたち日本人があのだ東日本大震災から学んだこと、そして2020年以降の社会に向けて築いていくべきことは何なのでしょう。

もともとサステナビリティという概念は、国連が1987年に「国連環境と開発に関する世界委員会・ブルントラント報告」で提起したことから始まっています。今年3月14日から18日まで仙台市で開催される第3回国連防災世界会議では「グリーン&アクセシブルな会議運営」という点で、国連がこれから世界中で開催するあらゆる会議のロールモデルとなることが決まっています。

この機会をとらえて、**世界最大のイベント運営会社 MCI グループ**と、アジアで初めてイベント・サステナビリティ認証（ISO20121）を取得した**日本コンベンションサービス株式会社（JCS）**が、海外から専門コンサルタントを迎えて、イベント開催を通じた社会貢献のありかたをみなさんとともに考えます。

### 会場・日時 Venues & Dates

1. 仙台会場（定員 50 名）  
平成 27 年 3 月 18 日（水）17 時～19 時（国連防災世界会議最終日）  
せんだいメディアテーク 1F カフェ  
Wednesday March 18, 2015 5pm-7pm | Sendai Mediatheque 1F café

2. 東京会場（定員 100 名）  
平成 27 年 3 月 23 日（月）16 時～18 時  
虎ノ門ヒルズ 5F ホール A4  
Monday March 23, 2015 4pm-6pm | Toranomon Hills, Tokyo

（いずれも参加費無料・通訳あり・終了後に懇親会あり）



### 参加登録 Registration

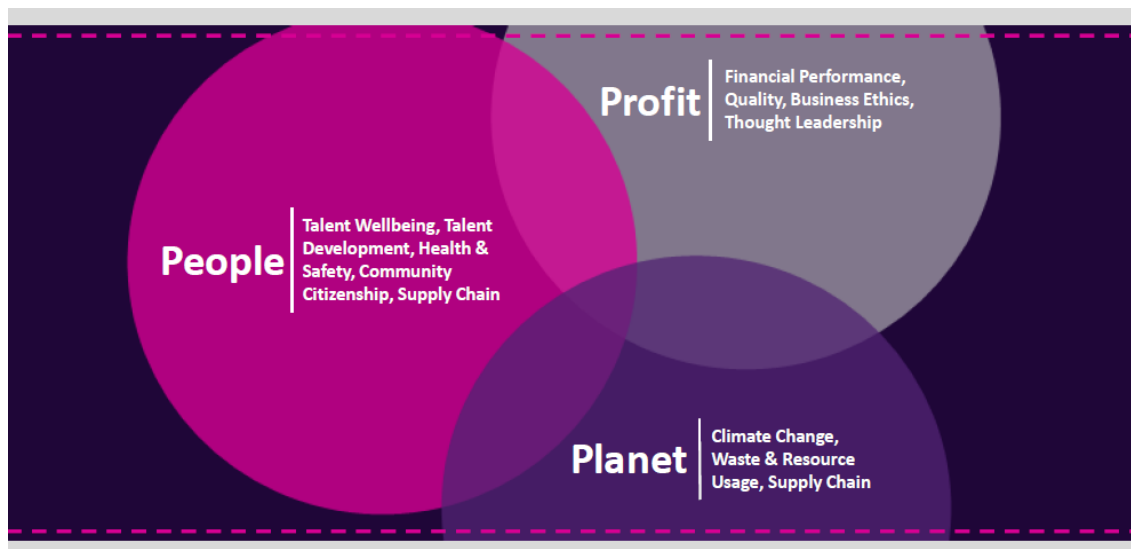
下記ウェブサイトよりお申し込みください。定員に達しだい締め切らせていただきます。

Sendai | 仙台会場（定員 50 名）平成 27 年 3 月 18 日（水）  
<https://www3.convention.co.jp/sustainable-sendai>

Tokyo | 東京会場（定員 100 名）平成 27 年 3 月 23 日（月）  
<https://www3.convention.co.jp/sustainable-tokyo>

## イベント・サステナビリティとは？ What is Event Sustainability?

サステナビリティとは英語で sustainability、つまり「持続可能な」という意味です。経済性(Profit)を両立させながら社会(People)と地球環境(Planet)を保ち続ける「3つのPの取り組み」と考えると、その概念がとらえやすいかもしれません。



いまサステナビリティはビジネス、政治、社会における重要課題となっています。イベント・コンベンション業界においてもサステナビリティは必須項目となりつつあり、企業、施設、サプライヤーは長期的サステナビリティ戦略から得られる利益を享受しはじめています。

環境への影響と価格コストを抑えると同時に、イベントの成果向上、ステークホルダー・エンゲージメント、そして社会的評価を得ることができるのです。2020年の東京オリンピックにおいてもイベント主催者・サプライヤーの本質的な行動モデルの変化が見込まれています。

今回のセミナーでは、**サステナビリティによっていかにビジネスの成果と価値を上げることができるか**、イベント・サステナビリティの将来展望、そして先進的企業やイベント主催者がそのサプライチェーンに求めている要素について学ぶことができます。



requirements from leading corporates and event organisers will be for their supply chain.

Sustainability is a hot topic within business, politics and society. In the events industry it's becoming a core requirement of many events, and an increasing number of corporates, venues and suppliers are harnessing the benefits of a long term sustainability strategy, reducing their environmental impact & costs whilst generating significant benefit in performance, stakeholder engagement and reputation. The Tokyo Olympics 2020 will require a fundamental shift in practise as TOCOG seek suppliers for the Olympic games. In this 2 hour complimentary session learn how you can drive performance and value for your business through sustainability, what the opportunities for a sustainable event industry look like and the key



ガイ・ビッグウッド Guy Bigwood

サステナビリティ・ディレクターとして、MCI が実施するサステナビリティ関連事業を統括。クライアントがサステナビリティを導入する際の「可視性」を重視しながら、イベントや施設がスマートな運営を行うためのコンサルティングを提供しています。クライアントは国連や世界中の学協会、企業、政府などにわたり、自治体のサステナビリティ導入にも情熱を注いできました。これまでに2万人を超える

人々へのサステナビリティ教育・啓蒙に関わっており、Green Meeting Industry Council の会長を務めました。ISO20121、GRI、APEX-ASTM といったスタンダードの設計にも深く貢献しています。コペンハーゲン・サステナブルミーティングプロトコル、国連グリーン・イベント・ガイド2点の執筆を担当しました。また世界で初めて ISO20121 が導入された EU 理事会をはじめ、500件を超えるサステナブルイベントを担当しました。

**Guy Bigwood** is Group Sustainability Director of MCI. Guy leads MCI Sustainability Services, a global consulting practice focused on helping organisations to visualise, plan and implement sustainable smart operations, events and destinations. He advises the UN, associations, businesses and governments worldwide, and loves working with cities to help them realise their sustainability commitments. Guy has trained over 20,000 people and is the past-president of the Green Meeting Industry Council, and was very involved in creating the APEX-ASTM, GRI and ISO20121 standards on event sustainability. He co-wrote the Copenhagen Sustainable Meetings Protocol and the two UN Green Events Guide. He organised the first ISO20121 certified event for the EU Presidency in Denmark (before London 2012), and over 500 sustainable events.



ロジャー・サイモンズ Roger Simons

MCI のアジア担当サステナビリティ・マネージャーとして、サステナビリティ戦略立案・イベント運営で12年の経験を持ち、国際的にもサステナビリティ分野におけるオピニオンリーダーとして知られています。次期 Green Meeting Industry Council 会長。ISO20121 移行前の BS8901 で世界初となるイベントや、マリナベイサンズの ISO20121 認証を担当。また、ISO20121、GRI、Convention Industry

Council で多くの標準化委員会やタスクフォースなどで活動しています。

**Roger Simons** is the MCI Group Sustainability Manager for Asia. He is the incoming President of the Green Meeting Industry Council (GMIC) and has over 12 years' experience in designing and delivering winning sustainability strategies and organising sustainable events, Roger is recognised internationally as a thought leader on sustainability issues. He organised the world's first third-party certified event under the BS8901 Sustainability Management system and went on to sit on the ISO 201021 Standard Project Committee 250, the Global Reporting Initiative (GRI) Events Sector Advisory Group, Convention Industry Council APEX/ASTM E60.02 Task Group and the Convention Industry Council's Future of Certifications Taskforce.



## プログラム Program

---

- ・ イベント・サステナビリティと ISO20121
- ・ サステナビリティを通じた防災・復興への取り組み
- ・ 海外での主な事例紹介
- ・ 2020 年の先を見据えた日本におけるイベント・サステナビリティについて 他

## 防災・復興とサステナビリティ Disaster Risk Reduction, Recovery and Sustainability

---

日本コンベンションサービス株式会社（JCS）では、2012 年 10 月に国連防災世界会議と同じ国連の重要会議である「生物多様性条約第 10 回締結国会議（COP10）」の統括運営を担当したことがきっかけで、世界に先駆けて ISO20121 を取得して、非常に早い段階からイベント・マネジメント業務にサステナビリティを導入しています。その取り組みのほとんどは「事前の備え」によるものです。

たとえば防災に関わる具体的な取り組みとして、JCS では世界のどこからでもアクセスできるクラウド業務システムを導入していたため、東日本大震災で首都圏の交通が麻痺した時も社員が自宅から職場のネットワークにアクセスすることで、安全に遅滞なくイベントの準備業務を進めることができました。さらに社員全員が基礎救命講習を修了しており AED が使用できることで、余震の不安が続く中でも安心感を持ってイベント実施に踏み切り、当時、数多くのイベント・国際会議が延期・中止となる中、いくつもの大規模イベント・国際会議などを成功に導くことができました。中でも震災 6 カ月後に仙台で開催された医学会に 5,000 名を超える医師が集結したことは、仙台・東北に大きな経済波及効果をもたらすこととなりました。

さらに復興につながる取り組み具体例のひとつとして、全国から約 250 人の社員が一同に集まる社員総会に当たり各家庭で不要になった絵本の持参を呼びかけることで合計 150 冊の絵本を集めました。社員やその家族の思い出が詰まったこれらの絵本は、震災で甚大な被害を受けた宮城県山元町の図書館に贈呈されます。コンベンションという大勢の人が集まる機会を生かして、社会に貢献する取り組みの一つです。

いま日本コンベンションサービス株式会社（JCS）は「青葉山コンソーシアム」の一員として、東北随一の国際会議場である仙台国際センターの指定管理業務に取り組んでいます。東北のプラットフォームである仙台市に多くのイベント・コンベンションを誘致して、地域と一体となりそれらのイベントを成功させることにより、東北全域の復興に持続可能な形で貢献すること。それも JCS が考えるイベント・サステナビリティのひとつです。

代表取締役社長 近浪 弘武



## お問合せ先 Contact

---

日本コンベンションサービス株式会社 事業開発部 担当：西本 恵子  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 11 階  
Keiko Nishimoto, CMP(Certified Meeting Professional) | Japan Convention Services, Inc.  
TEL : 03-3508-1243 E-mail : sustainability@convention.co.jp



SEMS566937  
ISO 20121:2012